

リスク・機会とマテリアリティ

J-POWERグループのマテリアリティ

J-POWERグループは企業理念に基づき、事業活動を通じて豊かな社会の実現に貢献してきました。

2021年にはさらなる企業価値の向上に向け、J-POWERグループにとって重要な社会的な課題を抽出し、ステークホルダーの方々の関心、企業理念との関連、事業への影響等を考慮して5つのマテリアリティを特定しました。特定に際しては第三者からの意見を踏まえたマテリアリティ案を作成後、サステナビリティ推進会議、常務会での議論

のうえ、取締役会で決議を行っています。

2022年には目標(KPI)を設定し、さらに2023年には実績を開示するとともに、役員報酬(業績連動報酬)の評価指標に5つのマテリアリティを非財務指標として加えることを決定しました。

マテリアリティの取り組みを着実に進めることでSDGsの達成へ貢献するとともに、中長期的な企業価値向上に取り組んでいきます。

2021年度 マテリアリティを特定

2022年度 目標(KPI)設定

2023年度 業績連動報酬の評価に非財務指標(マテリアリティ)を採用

※11ページに目標(KPI)と2022年度の進捗状況を記載しています

